

	<h1>HSK</h1>	1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号488号 発行/2012年12月10日(毎月10日発行) 編集者/我妻 武 住 所/〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323 H P <a href="http://npolife.net/">http://npolife.net/</a> 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会 定 価/100円
	しわす・むつき <b>師走・睦月合併号</b> NO.145・146 2012.12.10号 <h2>Advocate</h2>	



# かい 隗より始めよ

理事長 我妻 武

まずは日頃からお世話になっている個人、団体の方々にお礼申し上げます。

2012年初めに理事長を拝命してから本当にいろいろなことがあり、あっという間に年末年始となりました。少々大変なことにも直面しましたが、改めて多くの方々にライフを支えていただいていることに気づかされた1年でもありました。紙面を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また、ライフの健常者スタッフや障害者スタッフとも話す機会が増えて、共に仕事する、そして、共に行動する大切さを実感した1年でもありました。

しかしながら、昨今の経済情勢もあり、なかなかライフの仕事に直結することが少なかったという厳しい現実にもありました。

2013年は、これまでの反省点も活かしながら、進めていきたいと思っておりますが、中国の故事にある「まずは隗(かい)より始めよ」の精神で、まずは私自身から行動をしていきたいと考えています。深澤前理事長から引き継ぎをさせていただいたのも、まずは私から行動しようという第一歩だという考えからです。

この言葉は、すでにある政治家が使って、良くも悪くも有名になりましたが、本来は人に言う前

に自分から積極的に行動することです。ところが大体の場合は、この言葉を相手に向かって突き付けて、「あなたから始めなさい」という意味でつかわれることが多いようです。

自分のことはさておき、こういう社会にしたのは他人のせいで、社会のせいであると責任転嫁をする風潮が強いのですが、すでに行政だけでは出来ることにも限りがあることは多くの人たちが気づいたはずだと思います。ならば、まずは自分たちから始めていかなければ何も生まれませんのではないのでしょうか。大事を始めるには、まずは小事からという言葉もあります。

もちろん、理想だけでは進まないことも理事長をお引き受けして実感したところですが、夢や希望がなければ、計画も実現も出来ません。少々回り道になっても結果を生み出せるようにしていきたいと思っています。

すでにライフは、自分たちでいくつかのことを始めてきましたが、これからは障害者だけの事業体から、リストラ、シングルマザーやファザーなどで社会的困難を抱えながら仕事に就けない人たちと、どうすれば一緒になって仕事出来るのかを実践しなければいけないと思っています。そのために行動をより進めることにしたいと考えています。

2013年もライフのスタッフ一同と一緒に仕事をします。

どうぞ引き続き、ライフに対するご支援、ご協力をお願いいたします。

# 共同連北海道ブロック会議 結成交流会報告

専務理事 石澤 利巳

11月9日、共同連北海道ブロック会議結成交流会が157名の参加で賑やかに開かれました。共同連は、1984年に、障害者差別と闘う全国の仲間たちの連合体として出発し、その後、障害ある人ない人が共に働く共働事業所づくりを積極的にすすめ、またイタリア等の社会的協同組合の活動に学び、様々な困難を抱える人々が共に働き続ける「社会的事業所」づくりを提唱してきました。

ライフも、その前身である障害者ワープロフロア時代から共同連大会に何度か参加し、2006年には共同連全国大会を札幌の地で開催することが出来ました。この大会を契機に「札幌市障がい者協働事業」制度が生まれ、障害のある人ない人が共に働く「共働事業所」づくりを進めてきました。

今回、共同連北海道ブロック会議には、6法人24事業所と4名の個人会員が共同連参加を表明しています。代表は合同会社農場たつか一むの高野さん、副代表に創生もえぎの山本さん、事務局としてライフの石澤と岡田、創生もえぎの久保田さんが役員として就任しました。

当面の活動としては、各事業体の経営基盤を強化していくために、協働事業等の事業連携の取り組みを始めて行こうと確認しています。共働事業所づくりを進めていくには、理念と合わせてその経営基盤を確立し、共に支え合っていく事が必要になります。全国共同連のネットワークとの連携を強化しながら、経営基盤の安定化を目指した取り組みを始めていきます。

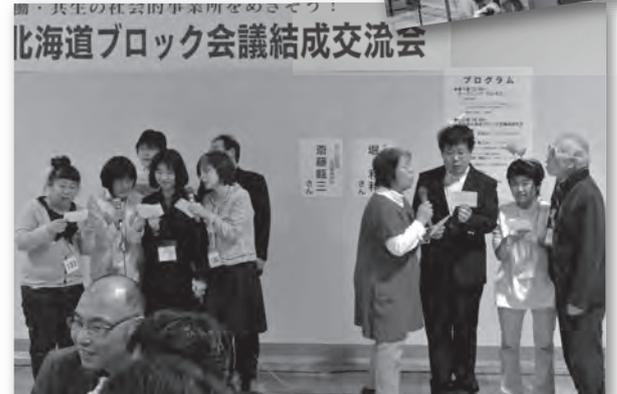
二つ目の活動としては、共同連北海道に参加する事業所を狭めることなく、共働の理念をめざすB型事業所も含めて、社会福祉法人、NPO法人、株式会社等、広範な集団、人々のネットワークとして拡がりを作っていく事です。

この拡がりを基礎に、北海道版(札幌版)の社会的事業所づくりを積極的に担っていくのが、共同連北海道ブロック会議の当面の果たすべき役割です。

全道の心ある仲間の皆さん・友人の皆さん！  
誰もが安心して暮らし、働き続ける社会を創るために、共同連北海道ブロック会議に参加し、共に活動を進めていきましょう。



石澤専務理事から結成宣言がありました。



抽選会やピンゴゲームで大盛況、各参加団体がパフォーマンスを披露!!

## ❖ 社会的事業所について札幌市議会で質問がされる

これまでライフでは、障害のある人たちだけではなく、リストラに苦しんでいる人、シングルマザーやシングルファザー、在日外国人など社会的な困難を抱えている人と一緒になって就労をすることを新たな就労の形としていけないだろうかと訴えてきましたが、なかなか実現に至っていません。

そのよう中で、札幌市議会で小倉菜穂子議員(市民ネットワーク北海道)が質問されましたので、それを掲載いたします。

私たちは、社会的事業所の実現に向けて進むことを期待しています。

### 2012年第2回定例市議会(6月7日)代表質問第2番

#### 【質疑】ソーシャルファームの構築とまちづくり戦略ビジョンへの位置づけについて

札幌市議 小倉 菜穂子(市民ネットワーク北海道)

グローバル経済がすすむ中、貧困や格差が広がり、働く人々の雇用環境は大変厳しい状況にあります。市民ネットワークは、効率優先の市場経済に対し、環境、福祉、労働などの社会的課題を解決するために、社会的経済の重要性や新たな働き方であるソーシャルビジネス等の取り組みを求めてきたところ。そうした中、一般就労でも福祉的就労でもない第三の就労の場として、労働市場において不利な立場にある人々の雇用を創出するためのソーシャルファームがヨーロッパ諸国や韓国等で拡がりを見せています。特に、イタリアの協同組合から始まったソーシャルファームは、当初は精神障がい者の就労の場でしたが、今では、障がい者はもとより、職に就けない若者から高齢者、ニート、ひきこもり、薬物やアルコール依存症者、刑余者など、社会的不利を抱えた人々にも拡がっています。このようなソーシャルファームの特徴は当事者とともに、地域の住民も対等の立場で一緒に働くことにより、仕事を通して地域住民との繋がりが形成され、社会的排除や孤立を防ぐ効果を生み出しているとの報告もあります。

札幌市においても2006年より始まった障がい者協働事業は、障がいのある人もない人も対等な立場で、共に助け合いながら働ける場の創出をめざす取り組みであり、全国でも先進的な取り組みとして高く評価しているところで。2011年度、元気カフェなどの喫茶店経営、大型家具の

リサイクル販売など12の協働事業所が運営経費に対する補助を受けておりますが、経営的にも厳しい状況にあります。今後、経済、雇用情勢が厳しさを増す中、働きにくさ、生きづらさを抱え、社会的に排除されている人々の居場所の確保や経済的自立を図るためには、ソーシャルファームのような仕組みは有効です。

その一つとして障がい者協働事業所補助制度を拡充し、協働事業所を誰もが安心して働くことのできる札幌市独自のソーシャルファームとして発展させることが重要であると考えます。

そこで、1点目に、ソーシャルファームは、労働市場での不利な立場にある人々の新たな就労を生み出す取り組みとして重要と考えますが、今後、どのように構築していくおつもりか、伺います。現在、札幌市は「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定中であり、「つながりと支え合いによる安心で魅力ある地域づくり」を重点戦略として検討しているとのこと。今後のまちづくりにおいて、地域の中で、誰もが孤立せず、排除されずに安心して働き暮らせる環境づくりが不可欠です。

そこで、2点目に、このようなまちづくりの実現に向け、社会的包摂を含んだソーシャルファームの理念を現在検討されているまちづくり戦略ビジョンの中に、しっかりと位置づけるべきと考えますが、いかがか伺います。

#### 【答弁】ソーシャルファーム(社会的事業所)について

上田 文雄(札幌市長)

##### (1)ソーシャルファームへの今後の取り組みについて

- 社会的事業所いわゆるソーシャルファームは、労働市場で不利な立場に置かれている方々の雇用を創っていくという重要な政策課題であると認識。
- 札幌市ではこれまで、さまざまな障がいのある方々などの就労支援に積極的に取り組んできたところ。第3次新まちづくり計画においても、例えば、障がい者協働事業の大幅な拡充を計画化しており、これらの取組を着実に推進してまいりたい。
- また、今後は、他都市の先進事例や国における支援体制の動向などを見極めながら、このような方々に、さらにはどのような就労支援が可能か、取り組みの充実を含め、鋭意検討を進めてまいりたい。

##### (2)まちづくり戦略ビジョンへの位置づけについて

- まちづくり戦略ビジョン審議会においては、現在、重点的な取組として「多様な世代、市民が地域で共生する仕組みづくり」について鋭意検討がなされているところ。
- 私としても、障がいのある方々を始めとするいわゆる社会的弱者を、地域の力で包み込み、社会的孤立を防ぐという、社会的包摂の理念は非常に大切なものと認識。
- したがって、今後出される、審議会からの答申の考え方を踏まえつつ、議員からのご提言も参考にしながら、これらの考え方をビジョンの中にしっかりと位置付けてまいりたい。

# ゼロエミッションの世紀(環境問題が提示する破壊と希望)

松尾 多門

僕は朝起きてトイレを出てテレビをつけ、歯を磨き、洗顔のあと、ミネラルウォーターを口にしながら、きざんだバナナをお気に入りのカスピ海ヨーグルトにスクランブルしてコーヒーを点(た)てた。そして熱いコーヒーに鼻水が出てティッシュペーパーでぬぐう。

ありふれた朝の風景である。しかし、朝起きて10分。これだけの時間でもう、僕の手元には以下のものが発生してしまった。

- 1・ポリ買い物袋
- 2・トイレトペーパー包装フィルム
- 3・空歯磨きチューブ
- 4・石鹸のパッケージ
- 5・ペットボトル
- 6・バナナの包装フィルム
- 7・バナナの皮
- 8・空き牛乳パック
- 9・コーヒー豆の袋
- 10・コーヒーフィルター
- 11・コーヒー豆の屑
- 12・ミルクパック
- 13・使用済み紙ナプキン
- 14・空ティッシュボックス
- 15・使用済みティッシュ

いったい、なんてことだ！たった10分で僕はなんてことをしてしまうんだ！

だいたい、モンゴルの大草原に生きる民が朝起きてから10分でこんなことをするだろうか。タイの農民が10分でこんなことが出来るだろうか。彼らから発生するもの。いやいや、少なくとも彼らが創りだすものは肥料に効果的な灰と家畜の餌となる残さだけだろう。そう、彼らは発生させるのではなく、生きながら再び創っているではないか。

まずい。情けなく泣けてくるが、よし僕だつて！

「1,2,3,5,6,9,12」は容器系とプラとして何とかまとめ置きしてリサイクル収集に回そう。そして「4,8,14」は古紙回収協力店にいつか持っていかなければ。しかし「7,10,11,13,15」は、えっと、これはどうしようもない。嗚呼、君たちはこれから燃やされてこの世界から抹消されるのだね。朝トイレで流したトイレトペーパー君は



どうなることだろう。たった10分でなんてことだろうか。

まてよ！そんなものではないはずだぞ！ああ、またなんてことだろう！僕ってやつは！

僕は朝起きてテレビのスイッチを押したではないか！しかもいま、テレビは「みのもんたさん」の怒りのメッセージを8時またぎで映しだしている。テレビに電気。ああ、嗚呼！

一昨年エコポイントでやっと買ったこのテレビ。これを構成している部品はなんと10,000点を超えるという。鉄、非鉄、シリコン、ガラス、プラ、etc、それは無数と言える工場で製造され電機メーカーに結集。組み立てられて運ばれ、売りに出て、また運ばれて僕が買った。このテレビに係わる人はそれまで何人いただろう。

テレビの原料となるプラも、運送に係わる燃料も石油から生産される。サウジアラビアの現地労働からタンカーで運ばれ、製造され組み立て、僕

の手元に来るまでには、このひとつの石油ルートだけ考えても凄い人数だ。それがテレビ1台となると、一部品にたった500人が係わったと極小に推計しても500万人が従事したことになるではないか！

これらにより発生するものは、僕の「1～14」の比ではない！きつと途方もない種類と量になっているに違いない。僕の手元に残った「1～14」にしたって、僕が使うまでの道のりでどれだけのものを発生させてきたことだろう。僕はもう気が遠くなってきた。たった10分とテレビだけで。あっ！テレビは電気があるから映る。エネルギーの生産、発電所、変電所、送電線、電柱、配線、嗚呼！もうだめだ！この星は必ず滅びる！

**いいや！滅びるならばこんな生活を続けている僕が滅びればいい！**

しかしだ、この星が僕のせいで滅びる時はタイの農民もモンゴルの遊牧民も道連れになってしまうのではないか！彼らがいったい何をした！？この星の営みの法則のまま、創りだすことしかしていなかったではないか。

**ごめんなさい。ごめんなさい。**

僕のたった10分間は数百万の人々を活動させた上に数百万トンの廃棄物を生みだしてしまいました。世界を見渡したところ、先進国や日本の僕が「1～14」を一生懸命にリサイクルしようとしても、それに至るまで僕が見えなかった廃棄物のほとんどはリサイクルされずに燃やされ、埋められていると聞きます。

タイやモンゴルの友よ！ごみを出さない人々よ。大自然の中にあつて大自然を再生させる天使の君たちよ！僕らは生き方を改める時が来ました。そのためにはこの経済優先の社会を放棄しなければならぬことがわかってきました。そして大社会でも廃棄物を出さない形態を創っていかなくては未来はないことも。そのためには心を愛に染めなければ、この困難を達成できないことも。

**【廃棄物などもともとありません。】**

廃棄物(ごみ)とは「不要なもの」という意味です。それではその「不要」とは誰が決めることでしょうか。僕から発生したバナナの皮は「僕が」不要と決めればそのまま「燃やす」ごみとなり二酸化炭素となって消滅しますが、僕が必要と決めれば(決心すれば)庭のコンポストになることも、農家に持って行って堆肥に混ぜてもらうことも可能です。しかし、多忙な生活の中でそこまで出来る人はなかなかいません。だから「不要」と

決めてしまい「廃棄物(ごみ)」として処理させてしまいます。

しかし、僕が行う面倒であり手間のかかる再生を組織化及び社会化することは可能です。生活から発生するものを個人個人が「主観的」に廃棄物と決めてしまう時代は終わりました。なぜなら貴方が「不要」としていたものであっても、処理の社会化によっては「必要」と思える企業や団体、産業はきつとたくさんあるからです。

そのときに、その場所で、その環境で、その人たちに合わせて主観的な「廃棄物」を「普遍的」にとらえて「再生」する。ごみなど本当は無いのだ！とする考えや思想のことを「ゼロエミッション」といいます。この思想は現在、多くの企業が実践し、またその実践から新しい産業や技術が多く生まれています。

そしてそれは、大量生産、大量消費、大量廃棄の「一方通行型社会」が「循環型社会」へ帰る大きな幸福の道標となってゆくことでしょう。すこしだけ不便になった社会でも、皆に仕事があり、いつも笑顔でいられる内需型のあたりまえの生活。ゼロエミッションが到達する社会はそんな明るい未来ではないでしょうか。

誰かが得をして誰かが苦しむ世界。掃き捨てられ邪魔にされる国や人々。これが経済優先の社会が生んで来た現状です。ですが、ゼロエミッションの愛を基に考えるとき、全てが必要で無駄なものなどないのです。これは宇宙の法則に合致しているだけではなく、この考えを実行に移す知恵は人類の未来を救います。

僕は今、企業に団体にこの思想を実行手段として啓蒙し、たくさん雇用と幸福を創りだすボランティアを行っています。ハンディキャップをもった仲間達に働いていただける場所を！この活動を全国に広げたいと考えています。

「主観」から「普遍」へ。これは廃棄物だけの話ではありません。それは愛の法則であり、貴方が幸福になるための道標なのです。ゼロエミッション。これは幸福の物語だったのです。( ^\_^ )



# 札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

# 札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



<http://www.reuseplaza.jp/>

## 「今年を振り返って&来年の目標」

発寒工房 坂本 倫子



私が発寒工房に入ってから8ヶ月がたちました。月日がたつのがあつという間に感じます。

その間、色々なイベントにも参加させていただき、今年はたくさん楽しく仕事をさせてもらえて本当に感謝しています。ありがとうございました！

さて現在、工房には私とジョンさん、笠井館長を入れて13人います。女性は私一人だけなので逆ハーレム状態で毎日バラ色です(笑)

全員が集まって顔を合わせるのは月末だけですが、毎日賑やかな工房がさらに賑やかになる日でもあります。同じ職場で働いていると、楽しいこと

もあればぶつかることもあります。けれど、ぶつかった時にきちんと前向きに解決をしていく、楽しいことも嫌なことも仕事のミスも、みんなで共有していこうという環境が発寒工房にはあります。

誰かをせめるわけでもなく、みんなで考えたり意見を出していくそういう環境が素晴らしいなと発寒工房に入ってから強く感じました。来年もみんなで元気に少しでも成長できるように頑張っていきましょうね！

何人かから来年の抱負をいただきましたので紹介します♪

- 齊藤 悦久 ○コミュニケーション能力を高めたい！
- 大井 敏彦 ○仕事のスキルアップをすることと、腰痛にならないようにする
- 関 隆広 ○やりにくい(難しい)所を、少しずつ出来るようにしたい
- 原子 俊男 ○酒の飲みすぎに注意して体を壊さないようにします！



### 冬休み親子木工教室

### リユースプラザからのお知らせ

1月12日(土) 午前10時30分～午後2時  
「廃材で作る本立て」

1月13日(日) 午前10時30分～午後2時  
「廃材で作るトラック」



※対象:小学生の親子 定員 先着10組 参加費500円 受付開始12月11日(火)から

# ★ リユースプラザへの嬉しい訪問 ★

リユースプラザ所長 松永 クニ子

**その1** ♡ 10月から始まった「2012年後期サタデーテーリングのスタンプラリーのスタンプポイント」となったリユースプラザです。毎週土曜日平均50名以上の小学生が来館。毎週土曜日が賑やかになりました。

来館する子供たちは、スタンプの他に「4つのRクイズ」を楽しみにしています。担当は西田職員です。さらに「第3土曜日簡単工作教室」と月2回の自転車抽選会も担当ですから、土曜日は大忙しなのです。

でも子供たちにクイズを出すと、反対に質問攻め…学校で環境について勉強しているから難問続出…日々勉強の西田職員なのです。



雨の日も風の強い日もやって来るサタデーテーリングの子供たち！



イオン 藻岩店チアーズの子供たち  
廃材のおもちゃ楽しい！  
家具も気になる子供たち

**その2** ♡ 10月21日日曜日、イオン札幌藻岩店チアーズクラブの子供たちと付き添い者18名が施設見学。この日は旅行で休みの松永に替わって、やっぱり西田職員が担当。1年間リサイクルをテーマに活動しているということで、地区リサイクルセンターを中心に説明。やっぱり、難しい質問が飛んでくる。環境・エコについては、子供たちは侮れないのです。

**その3** ♡ 去る11月1日のこと、厚別さくら木保育園のいちご組のちびっ子たちが来館しました。

来館の目的は、「いつも公園をかしてくれてありがとう!!」と可愛いお手紙を持って来てくれました。リユースプラザの前は、遊具はなんにもない緑地。つき山を登ったり降りたり、芝生で鬼ごっこ、冬はソリ遊びと一年を通して遊びに来てくれます。元気に走り回るちびっ子は～職員に安らぎをくれるのです。松永がリユースプラザ勤務して3年目ですが、初めての出来事です。

かわいい子供からの「ありがとう!」は職員一同感動しました。「これから未来を背負ってたつ子供たちのために、廃物や自然のものを利用した遊びを伝承したい! もっと環境・ごみ分別の意義・エコを分かりやすく説明したい!」そう誓った西田大作は、環境についての勉強と、子供たちが楽しく遊ぶ遊具を作る日々を2013年も続けて行くのです。



いつも特製ベビーカーで移動～歩いて来る時もあるよ!  
「かわいい!連れて帰りたい!」危険な西田お兄さん(@\_@;)

## ..... ☆ 2013年への思い! ☆ .....

### 「新年を迎えるにあたって」

工藤 昌幸

リユースプラザには開設時より勤務しています。現在は、資源回収、家具洗いや色々な仕事をしています。まだまだ不慣れのところがあって、思うようにいかないことが多々あり、すぐ気持ちが折れそうになるのが現状です。

新年になってからは自分が精神障害者ということに甘んじることなく、目の前にある仕事に対して継続して励んで行けるようにと決意しています。

### 「資源回収で思うこと」

澤田 茂則

リユースプラザでは、地区リサイクルセンターを併設しています。

私が思うことは「ごみを持って来たけど、どこに捨てるの?」という市民です。その時に私は「ごみ

は引き取りをしていませんが、資源物は引き取りますよ。」すると「ダンボール、新聞…」と言って来ます。いつも私はそれを聞いて市民にとっては「資源物=ごみ」なんだとガッカリします。

まだまだ浸透していない「4R」に市民の意識改革の必要性を強く感じています。

### お願い

リユースプラザでは、イベント時のチラシを区役所などへ配布するとき「市の「メール便」(無料)」というシステムを使って配送料金の節約をしています。そのために使用済みのA4の封筒をリユースプラザに寄付して下さい。また、セロテープの芯も工作に使います。捨てずに再利用～リユースプラザをよろしくお願いします。



セロテープの芯がX'masミニリースになりました♪



NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

# こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOM0102  
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323  
kokoroya@npolife.net

お米精米・販売  
チラシ折り  
封筒詰め作業  
箱折り  
シール貼り  
清掃委託業務

## 今年1年を振り返り…。

所長 岡田 悟

2012年もあとわずかとなりました。今年はみなさんにとってどのような1年だったでしょうか？こころやは活動を始めた年であり記念の年です。

また、当初設定した働きながらスローライフを考えていくという相反するテーマを持った事業所ということで、様々な壁にぶつかり試行錯誤の1年でもありました。

そんな中で始めたお米事業。多くの方の協力もあり年間契約を開始できたことは大きな成果だと思えます。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

来年はお客様に喜んでいただけるよう、スタッフ＆メンバーの意識を高くして、事業に取り組んでいきたいと思えますので、今後も引き続きこころやをよろしくお願ひいたします。

来年も皆様にとって、また、日本の農作物にとって良い1年でありますように…。

## マルマスターNX-3!!!!

富橋 祐太

新米の入荷と同時に、念願の業務用精米機をいつもお米のことでお世話になっている福田様より譲っていただきました。

これまで、1日に数十キロの受注があると嬉しい反面、大量に精米するには不向きな家庭用精米機が悲鳴を上げておりましたが、今回の精米機は60キロ程度なら1時間かからずに精米することができます。さらに、米ぬかを飛ばしてくれる精度

も素晴らしく、これまでの精米後にみんなで交代して金網ザルに移してぬかを振って落とす作業もいなくなり、こころやの全員が「こんなに楽でいいのか?」「すごすぎる!!」と、いただいた精米機の素晴らしさに笑顔になりました。

これを機に、美味しいお米をより多くの方にお届けできるよう、みんなで心をこめてお米事業を進めていきたいと思えます。



## せいそうについて

西野 悠斗

先月の10月ごろ、せいそうがはじめました。

せいそうの前半はあけぼの小学校と後半はエンテナーです。ながしとろうかのせいそうとロッカーふきです。おひるは西町のせいゆうで、ざるそばたべてます。



だしぶろをふきました。  
かがみをふきました。

しょくどう  
イスをふきました。  
じはんをふきました。  
まどガラスをふきました。  
チャグチをふきました。



## ふきました。

嬉野 健人

インテルトヨー  
じょしロッカーをふきました。  
せんたくものをふいた。  
かごをふきました。  
イスをふきました。  
ユカをふきました。

あけぼのしょうがっこう  
としょかんイスをふきました。  
まどガラスをふきました。  
ソトまどをふきました。  
たいいくかんげんかんをふきました。  
たんもくてき(多目的)ホールをふきました。  
おんがくしつをふきました。  
まどをふきました。  
しょうかきをふきました。



# アウトソーシングセンター 元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



## 2012年を振り返って

所長 織本 義昭

最後のカレンダーをめくるとやれた事よりやれなかったことが多くオイオイこれで1年終わりがよという複雑な思いを抱いています。

元気ジョブが発足して丸3年が経過しました。手探り状態からスタートし、この3年のさまざまなマッチング活動の実績をもとに今後の方向を打ち立てなければならない時をむかえています。

今後のマッチングの課題として

1点目は、

基本どおり仕事量の大・小にかかわらず丁寧にマッチングすること。

発注者は障害者事業所の現状をよく知らないケースが多々あり、事業所においては民間企業の事情を知らないケースがあります。双方に知りえる限りの情報を正しく伝えお互いに納得して付き合いを開始してもらうようにしなければなりません。

その時個別案件によって異なるとは思いますが、けして事業所がすべきことを代行しないであくまでも事業所またメンバーが力をつける方向で協力すること。

そして双方にまかせきりにしないで状況把握に努めることが大切です。

2点目が

先に加えて、手工業的方法から脱したマッチングの仕組みづくり・システムの構築が今一番の課題となってきています。

手工業的方法だけではいずれ成約件数・売上が頭打ちになることは目に見えておりこれ以上の展開は困難になります。

1つの案件に対し個別説明など労力は惜しまませんが、それとは別により広く元気ジョブが受けた受発注者の情報（どんな仕事を求め、どんな仕事が可能なのか）等をHP、メールなどで広く伝えていくこと。

発注者の依頼の条件などを事業所に伝え、事

業所の条件などを発注者にただ伝えるメッセージャーとなることなく、どのようにすれば双方の利益になり仕事が可能なのかを工夫しながらコーディネートすること。

1つの事業所では引き受けられない発注にたいしては、共同受注目指して事業所を結びつけそのグループのなかで自主的に進めることができるよう援助。

さらにテープ起こし・ポスティング・封入作業など業種別の勉強・情報交換会を行い、作業能力アップ、共同受注の基盤づくりも必要となってくるでしょう。

3点目は

今どこの事業所も苦勞しているのは、仕事量に波があり先の見通しがたちづらいということではないでしょうか。

スポットの仕事においても発注者との信頼関係をつくりながら、次の仕事へと結びつけていき定期的な仕事を事業所に供給すること。

最後に

3年間私たちは、数多くの経験を我がものとしてきました。

この蓄積をもとに今後もさまざまな提案を重ねさらなる飛躍をめざしていきます。

(追記)

この号が発行される頃には選挙の結果が出ていますが、政治の混迷はしばらく続くのではないのでしょうか。

こういう時だからこそ3年後、5年後を見すえ力をつけていきたいですね。

同じ夢をみたいものです。

**障害者が  
貴社を  
元気アップ!!**

企業・官公庁を問わず、  
軽作業等のアウトソーシングは  
「元気ジョブ」にお任せ下さい。



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

♪ **共働サービス たねや**

♪ 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32

♪ テラ二十四軒1階

♪ TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

♪ taneya@npolife.net

♪ 出張販売

♪ 配送業務

♪ チラシ折り

♪ 封筒詰め作業

♪ 箱折り・シール貼り

♪ 清掃委託業務

♪ その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



『お世話になりました。』

所長 島 明子

今年も残り僅かとなりましたが、皆様いかがおすごでしょうか？  
さて、私事ですが年内を持ちましてライフを退社することとなりました。ライフにはもじやで入社し、きばりや、たねやと3事業所で働くことができ、たねやの所長も務めることができました。6年間ライフ関係者をはじめ、多くの方々に支えられ今日まで来ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は一度しかない人生ということで、前回号でも紹介した陸上ホッケーの普及・選手育成に力を入れ北海道を盛り上げて行きたいと思っています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

☆ たねやで働くながまより～ ☆

『今年1年を振り返って』

木原 悟志

今年1年を振り返るとたねやは人の出入りが多かった気がします。

去年の末に前所長の永田さんがいなくなり、たねやとこころやに分かれて若干のメンバーの異動があり、10月からは山口さんと松村さんがこころやからたねやに異動して、イオン発寒店の資源分別事業が始まりました。

この仕事は私、中井、山口、松村、スタッフは森で動いています。仕事内容はイオン直営店とモール店から出るダンボール等紙系のゴミと飲食店等から出る燃えるゴミと、ビン、カン、ペットボトルとその他のゴミをイオンの指定された方法で細かく分別しています。イオンは年中無休なのでこの仕事を毎日ローテーションでやっています。アラ40 2人にアラ60 2人の初老4人で毎日死にそうになりながらガンバッテイマス。(汗&笑)



そして最後にたねやを支えてくれた人たちが去っていきました。高校を卒業してたねやに入って、目立たないけど、実

直でまじめでさわやかな笑顔でムードメーカーだった宮澤さんが、家族の引っ越しのため11月末に辞めてしまいました。

そして、仕事の面でもその他の面でもメンバー、スタッフを支えてくれた所長の島さんが自分の夢に専念するために年内でライフを辞めてしまいます。2人が次のステージでも必ず成功してくれることを願っています。

『新事業について』

中井 学

今年は暑い年だなと思っていましたがその反動からかこのごろは寒さがきついと思うのは自分だけでしょうか？

話は全然違いますが10月初めから、イオン札幌発寒SCで出されるゴミの分別の作業に従事しています。日々覚えることがあり大変ですがリサイクル社会の一旦を担っていることに充実した日々を送らせてもらっています。

自分達が作業している場所に、こう書かれています「分ければ資源、混ぜればゴミ」日々この事を見て肝に銘じていこうと思います。



就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・ポストイン・DM発送  
・その他の軽作業

# きばりや

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533



### 年末のご挨拶！！

所長 岡田 悟

冬も寒さをまし、クリスマスのイルミネーションが楽しい季節となりました。

今年もあとわずか。1年を振り返ってみると、なんといいちごハウスの事業に手かけられたことが一番の動きでした。残念ながら、最終的には採算が合わないという結論に達し、半年のみの事業となってしまいましたが、多くの人との関係を築くことができました。

また、軽作業からの脱却を以前より考えていたきばりやとしては、新しいことに挑戦したということ自体が大きな一歩でした。実際にこれがきっかけとなり、従業員間で次の事業に対する話が日々。来年に繋がるものとなったと思います。また、カフェではドリップコーヒーの販売や1階でのきばりやワゴン営業も軌道に乗り、イベントや会議などに配達予約をいただくことも増えました。

そんなポジティブな雰囲気でも迎える2013年。きばりや本体業務としては新たな事業を展開していき、来年こそは新たな形のきばりやを皆さんに紹介できるように、カフェ業務としては新商品の開発に努め、より広い範囲のお客様に喜んでいただけるように、きばりや一同日々奮闘していきたく思いますので、今後もきばりやをよろしく願っています。



エルプラザ1Fのカフェコーナー

### きばりやの1年

濱中 孝仁

今年のスタートにみんなでいろいろな仕事をたくさんやって、ゆきが降る前までポストインが終わりました。

きばりやでいいことを、もくひょうはJPをたくさん早く終るように最後まで仕事をみんなでがんばろうね。

### MP3でテープ起こし

渡邊 重治

9月に今までカセットテープを録音していたダブルカセットの機械が壊れ、今までカセットテープでテープ起こしをしていたのを、10月からカセットではなく、MP3というものでテープ起こしをしています。

テープ起こしといいますが、これはデーター起こしではないかと思っています。時代も変わってきてカセットテープを聴きながらではなく、録音したテープをパソコンのMP3というのに入録してキーボードで再生しながら聴いてテープ起こしをしています。

もじやにいたときもMP3でテープ起こしをしていたので、テープ起こしをしづらくはないのですが、聴こえない部分もあって大変です。

### 来年の抱負

カフェ 大島 隆也

僕の来年の目標は、体調管理に気をつけて過ごせたらいいと思います。

仕事は新しい仕事ができるようにしたいです。1階営業や、コーヒーを入れたり落す作業などをしてみたいです。レジ打ちでミスを少なくして、ラッシュの時間帯で冷静にオーダーを通して商品を沢山売りたいです。注文や予約等の電話での接客も出来るようにしたいです。

### ~cafe de キバリヤより~

#### 今月のおすすめ



ホット  
コーヒー  
**280円**

Cafe de キバリヤと言えば、やはりホットコーヒー。カフェで焼くケーキと一緒に、何かと忙しいこの季節、ゆっくりに息味わいください。



**コン・ブリオ ひだまり**  
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@npolife.net  
 営業時間：月～木・土10:30～6:00 金10:30～21:00  
 休業日：日曜、祝日、年末年始

2012のひだまりは～

佐藤 加奈子



今年は大きく変わった年になりました。

一番変化したことは、ひだまりが店舗とまちかど荘に分かれて仕事をするようになったことです。必然的に一人あたりの仕事量も増えたので、洗い物にしてもお茶だしにしても、今まで少し感じとられた「誰かがやるだろう」という気持ちで過ごすのではなく、「これは私がやる！」という気持ちが現れるようになり、みんな自覚を持ってがんばろうとしている空気になってきました。

今年新しく入ったメンバーもだいぶ慣れてきて、できる仕事も増え、やりがいを感じるようになってきたのではと感じます。

まだまだ第一段階に過ぎないので、来年はもっとお店を活性化させる方法を模索して仕事を増やし、メンバーを増やし、ひだまり・まちかど共にステップアップしていけるようにみんなで協力していきます。

2012年をふりかえって

..... 新井田 琴江

野菜の切り方 皮むきがうまくなりました。

ー2013年の抱負ー

揚げ物 炒め物 焼き物の仕事がしたいです。

..... 余田 知広

白石体育館に行ったこと。白石体育館楽しかったこと。ジングスカンに行ったこと。白石体育館玉入れしたこと。

来年弁当配達をしたいこと。弁当洗いをしたいこと。皿洗いをしたいこと。

..... 横窪 友美

料理の時、だいぶ上手く材料が切れるようになったので、今度は全体的に作業スピードをもっと上げたいです。

あとは、行事に全然出ていなかったの、来年はなるべく出たいと思います。

..... 吉川 卓哉

ぼくは店ばんをしています。おみせのそうじをしています。おべんとうかいしゅうをしています。いつものたのしくはたらいしています。

らいねんは「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました」を元気にいえるようがんばります。

..... 藤原 亜由子

ー2012年をふりかえってー

ひだまりをたくさんお休みしすぎたのでらいねんは休まないようにしたい。

ーらいねんのほうふー

ヘルパーのしかくをとったのでヘルパーとしておしごとできたらいいとおもいます。





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 **繭結**

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

## 『備えあれば憂いなし』

所長 佐々木 泰彦

今年を振り返り、僕自身2月に大ケガをし3ヶ月入院、体も思うように動かせずじれったい1年でした。

それぞれ様々な思いで過ごしてきたと思いますが、いろんな問題を抱えたまま、繭結の体制も落ち着かず利用者の方々にも、要望にそう事ができなかったのではと反省する年でもありました。

国のほうも相変わらずもめ事が多く、TPP問題・原発・消費税と国民全体に受ける影響が多大になり日常生活への支障は我が家にも降りかかってくることまちがいなしです。原発の問題関連で考えると、身近にできる事の1つとしては、節電ですが、日頃気にして取り掛かっている、先日のように強風により停電になり、電気が全く使えなくなった時に、この時期の北海道には生活全般に悪影響をきたすこととなり、あわててカセットコンロを買ってみたり、石油ストーブを購入してみたりと改めて見直した人達が多かったのではと思います。

僕自身はもし電気が使えなくなってしまったら、足である電動車いすでの移動が不可能になってしまいます。最近ではまたよみがえるあの震災の時のような余震が何度か続き、たまたまですが僕もひとり自宅の中にいるときに揺れました。「備えあれば憂いなし」我が家もいざというときの準備の見直しが必要だと改めて感じ問題点を解決していきたいと思っています。

いろんな問題を抱えてはいますが、そんな状況の中でもライフ全体としても、繭結としてもしっかりと前進していきたいと思っています。

今後も皆様の協力のもとにがんばって参りたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

### 三ヶ月が経過して

玉川 よし子

戸惑いだらけの毎日でしたが三ヶ月が過ぎていました。この三ヶ月で色々な事があり、嫌になった時もありました。今では、少しずつではありますが流れにのれてきていますが、迷いのある時は、いまだにあります。

最近では、支援のあり方に疑問を持ち日々稼働しています。この迷いや疑問が一つでも解決できるよう、稼働していけたらと、今後の自分への課題となっています。この仕事には、明確な答えがなく、学ぶ事がまだまだ沢山あると思っています。自分を成長させる為にも大切な事だと考えています。



一人でできる仕事ではないので、皆さんと共に協力していけるよう努めていけたらと思っている次第です。よろしくお願い致します。

### はじめまして！！

木谷 香奈子

ヘルパーステーション繭結に入った木谷香奈子です。あっという間に一ヶ月が過ぎてしまったのですが、覚えることがたくさんあり、いろいろな方にご迷惑を掛けてばかりいる毎日です。

ヘルパーになっての年数は長いのですが、勉強嫌いもあり、資格等はほとんどありません。ただ、介護の仕事は経験や技術も大切ですが、資格が重要視される世界なので、今後は働きながら資格を取得できたらいいなと思っています。

趣味は…これといって特に無いのですが、体を動かしたりするのは嫌いじゃないので、たまにバッチングセンターに行ったりします。

まだまだ慣れないことばかりで、戸惑うこともありますが、これから頑張っていきたいと思っていますのでどうぞ宜しくお願いします。



# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理

## 『 2012～2013 』

所長 福田 義浩

今年はロンドンオリンピックがあったり、京都大学の中山教授がノーベル賞を受賞したりと華やかではずの一年だったのだが、重苦しい空気に支配され続けた一年だったような気がする。

沈滞した経済状況が原因なのか、或はなかなか減らないいじめの問題がそうさせているのか、明が暗にのみ込まれてしまった感がある。そんな状況の中でも、皆にご苦勞をかけ、またそれによく答えて頑張ってもらった一年だった。

トライアンドエラーの毎日ではあったけれど、仕事を通して連帯感が生まれ、仕事に対する責任感も一人ひとり身につけてきたように思う。来年は“もじや”というワクをとっぱらって、たねや、きばりや、カフェと連動しながら、“もじや”が企画立案して、ライフ全体で何かできないだろうかと思っている。

どこかの事業所が仕事のない時に、いつでも、その仕事に参加できるような、そんな事を考えたい。ワイルドだろう。

## 『 NPOマーケティングセミナーに参加しました 』

西田 彩

10月16日～12月18日までの期間、「寄附文化の醸成とNPO等団体の活動基盤の強化」を目的とした市の事業『さっぽろお買い物deまちづくりプロジェクト』として地下歩行空間での販売活動が行われ、ライフからはたねやが出店しています。また、マーケティングプランナー 白井栄三氏を講師に迎え、市民活動プラザ星園で、公開ワークショップやセミナーが全3回にわたって催されました。

11月14日(水)のセミナー『NPOの活動にマーケティングの視点を』では、NPO活動に活かせる「ものの見方・考え方・伝えるコツ」がテーマでした。時代が変化すれば、マーケティングの手法も変わりますが、未だに「大量生産・大量消費」時代の常識に捕われている人が数多くいると思います。か

つては、効率よくたくさん利益を得る方法が重要視される「商品主導」のマーケティングでしたが、今は深刻な不況により「顧客主導」のマーケティングになります。消費者側の視点に立ち、求められているものを提供するという考えです。そこには、商品だけではなく情報も含まれます。どんな会社なの？原産地は？原材料は？といったことも顧客には重要なのです。

そして「これから」のマーケティングはどうなっていくのか。それは「共感」だそうです。「心主導」ともいえるでしょうか。ソーシャルビジネスの世界はまさにそうですが、「ずっとそう思っていた!」「自分と同じ考えだ!」という気持ちを消費者に起こさなければなりません。みんなが望んでいることをビジネスにする、とも言い換えられます。また、そうなることで一般企業の方がNPO法人の活動に近くなっていくだろう、とも予測されていました。

だいぶ端折りましたが、とても大切なことだと思つたので、私自身も仕事に活かしていきたいと思つています。

## 『 仕事について 』

石川 和寛

今、3人で「ふまネット」というものを作っています。「ふまネット」というのは高齢者の足の筋力をつけるためのものです。“しっかり足をあげて、ゴムを踏まないようにして歩く”というそういったかんじの道具です。やり始めは力加減が分からなくて接着剤がはみ出してしまったり、ゴムなどを斜めにカットしたり斜めに穴を開けてしまったりと失敗の連続でしたが解決策を見出したので失敗はあまりしなくなりました。

狭い場所での作業なので、修復する時にどうしても接着剤をはみ出してしまいます。今は高齢者向けのを作っていますが、今度は一回り小さい子供用のを作りたいと言われました。自分たちでは手が足りないので2～3人借りて子供用のをやる予定です。上手く教えられるのかな？





# ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪



## 就労継続支援事業B型 たねや

♪♪ たねやで一緒に販売してみませんか!?



たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



※毎日元気に出勤できる方優遇  
♪♪♪ 問い合わせ:011-613-0611  
担当 島・奥井



## 就労継続支援事業B型 ひだまり



コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。現在、メンバー12人とスタッフ3名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒です!みんなが優しく教えてくれます★

一緒に働いてみませんか??!

ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131  
担当 小野寺・佐藤



私たちが4月から  
新メンバー(2加わい)  
楽しく働いています!!

## 就労継続支援事業B型 こころや

あなたのところに!! 私のに!!  
『こころや』です。

『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。

ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871  
担当 小黒・岡田





## …＊……＊…… ＊働について考えた6年間 …＊……＊……

たねや所長 島 明子

ライフに入社し、振り返ってみると本当に色々なことがありました。

ライフの理念である共働を自分なりに実践してきた6年間でしたが、奥が深過ぎて、正しい答えが何なのか分からないのが現状です。がむしゃらに現場で働いてきましたが、社会の温かさよりも冷たさを痛感することが多かったです。

ある時、琴似の郵便局前にある自販機を愛用している重度の自閉症を持つライフの仲間Aさんが、郵便局のお客様からクレームを受けていると知らされ現場に駆け付けると、「何でこんな危ない奴を野放しにしているんだ!!ちゃんと管理しろ!!」と激怒していました。Aさんは来た道を正しく同じように帰ってほしいというこだわりを持つ人物で、そのお客様にもこだわりをワイルドにお伝えした様子でした。普段、私は一緒に仕事をしていた仲間なので、それが普通になっていたのですが、一般社会から見たら普通ではない…。そのお客様に対して複雑な思いを抱きました。「そんな風にしか思えない可哀そうな大人だ」と怒りを覚えた反面、この状況で障害を持つ人と接したことの無い人を責めたところで理解されないのでは?互いに良い結果が生まれぬ?などと葛藤しながらも、嘸み付きたい気持ちを抑えました。日本の社会にはまだまだこの様な人がたくさんいますが、同じ人間として社会を共有出来る環境になってほしいです。

そんな中でも、共働を軸に仕事を確実にこなしていけば認めてくれる社会も出てきていて、清掃業務で取引のある長靴工場から「本当にキレイになったね、ありがとう」と言ってもらえました。

また、たねやの店舗に来た近所のお客様に「また来ますね!」と言ってもらえることも増えました。皆で喜びあえるのが本当に嬉しくて、障害があっても無くてもちゃんと仕事をしていればいつか認められると感じました。

ですから、障害があるから仕事が雑で、ちゃんと出来ないのではないかと、思われぬようにするには、本人達の意識が一番大事なのではないでしょうか。中には「後始末は健常者スタッフが全部やってくれるだろう」という考えの人がいます。やむを得ず全力で頑張ってもサポートが必要な人には全力でサポートしますが、障害があってもちゃんと健常者以上に仕事をこなせる人もいる中で、自ら出来るのにやろうとしない人には同じ社会人として疑問を抱きます。

特に非雇用型の事業所のメンバーは、雇用されている障害者従業員をよく見えています。自分達も彼らのように雇用されてどんどん稼ぎたいと思えるような見本になってほしいです。生活環境などがあるから仕方がないと思う人もいるかも知れませんが、仕事に対する姿勢は、人間、本気で変わろうと思えば変われるのではないのでしょうか。私自身もまだまだ未熟者で、偉そうにものを言える立場ではないのですが、非雇用型の就労継続支援B型のたねやで働く中で、特に感じたことでした。

人は本当に可能性を秘めていると思います。たねやは3年前まで軽作業しかしていませんでしたが、今では販売・軽作業・清掃・ゴミ分別事業など、さまざまな仕事にチャレンジしています。

ある人は、養護学校の先生から「計算はほとんど出来ない」と言われてたねやに来ましたが、今では出張販売に必要な電卓・ボード記入(商品名・金額・個数)を正確にこなせます。出来ないと思ひ込むのは、何事に対しても良くないですね。

6年間しかこの業界にいないのに、偉そうにはやいてしまいましたが、新天地でも初心を忘れず、謙虚に仕事を楽しんでいきたいと思っています。

また今後は、私にも障害をもつ兄がいますので、両親と協力しながら兄を支えていきたいと思っています。



# 平成24年10月24日 中央アジアからの研修生受け入れ

JICAの支援をうけ、DPIの協力のもと中央アジア(カザフスタン・キルギス・ウズベキスタン・タジキスタン)の各国の障害当事者団体のリーダー6名が、障害当事者団体の活動や障害者支援を学び、各団体の組織力強化のために研修にきました。

約1ヶ月間、前半は東京、後半は北海道にて様々な研修が行われ、ライフでは「障害者の就労と地域生活について」という題材でライフの歴史、現在の問題点等様々な事をロシア語の通訳を通してライフ本部で石澤専務理事が講義をしました。

ライフでは障害の種別を問わずに皆働いていて、そのかたちも福祉的就労から一般就労に近いかたちまであることから、ライフが講義を担当することに



なった理由のようです。

中央アジアの研修生が、重度の障害を持って地域で自立して生活していることが自国では考えられないと言っていたので、重度の身体障害者や知的障害、精神障害を持った人は施設や病院に入っているのかもしれない。

ひとくりに中央アジアと書いていますが各国の政治、経済は別々で、石油資源が比較的豊富な国、鉱物資源が豊富な国、乾燥地帯が国土の70パーセントを占めている国等と、内情は違って、共通しているのはどの国も決して裕福な国ではないようで、日本でいう年金が現物支給の国もあるようです。したがって日本と同じように進んで行くとは限らないので、今回の研修で来日された方々が帰国後に、何をし、各国の障害者福祉がこれからどのように進んで行くのか大変興味深いと思っています。(田中伸和)



## 幸せをあくうスプーン



きばりや 上神田 一朗

共同連の仲間である創生もえぎのもこもこさんが、10月31日にオープンした“キッチンカフェ「<sup>スプーン</sup>spoon」”。市電の停留所「山鼻19条」から歩いてすぐの環状通沿いにあるお店で、赤を基調に白字で「spoon」と書いてあるので、車でたまたま通りがかったも、目を引くのですぐわかります。赤色って、雪の白さにすごく映えるし、暖色なので中に入ってゆっくりお茶を飲んでいきたくなりますね♪ テーブル席とカウンターがあり、お昼にはランチメニューもあります。我々は夕方に行ったので、ワッフルと珈琲をいただきましたが、ボリュームたっぷり、甘いもの好きにはたまらないと思います。スプーンには、“幸せをすくう”という意味があるそうです。幸せな時間を過ごしに是非、足を運んでみてはどうでしょうか。



営業時間：10：00～18：00  
休日：日曜、祝日  
年末年始休日：12/28～1/7まで  
※駐車スペースは3台分ございます。

問合せ 011-521-2415

濱中 孝仁：スプーンに5人で行って、カフェにあるガラス棚の上のがんばワッキーがおいしそうでした。



星 悠：ワッフルのかんそうは、アイスといちごとキウイフルーツをのせて、とてもあまくて、とってもおいしかったです。また、食べに行きたいです。

織本 亜哉子：共々ネットの仲間の喫茶店spoonにきばりや5人で行きました。スタッフは障害者の女性スタッフ2人と、健常者スタッフ、女性2名と男性1人が働いていました。みんなでイチゴワッフルとブレンドコーヒーを飲みました。スタッフが親切でとてもいい喫茶店だと思いました。また、近くに行った時は寄って見たいなあと思いました。

加藤 信一：spoonは、すごく清潔感があり、スタッフさんも明るく、ワッフルセットも、さわやかな甘さで大満足でした。

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ



・厚真町  
本田農場産

# ゆめぴりか

## 地方発送 承ります!!

### 限定30袋

最近、おいしいとTVでも取り上げられている北海道米。  
お米マイスターが本年度イチオシの品種と評した最高級米ゆめぴりかを地方発送いたします。  
大切な方への贈り物、大切なご家族やご自分へのご褒美に安心安全な北海道米はいかが？

# 9kg 3,980円(税別)

(税込価格 4,179円)



**分づき米とは？**..... 玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。  
白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。  
※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

**精米したて!!**..... 新鮮!!  
ご注文をいただいてから精米し、即日発送いたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。

**本田農場生産の低農薬栽培は？**..... 除草剤・イモ子防除剤 各1回のみ散布して栽培しています。

低農薬米?  
安心安全!!

## 申 込 書

※ ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

送り主	住所			
	氏名			
	TEL		FAX	
送り先	住所			
	氏名		のし(要・不要)	
	TEL		・お歳暮 ・お年始	
			・その他( )	
白米	9kg	袋×4,179=	円	配送地域別送料
分づき米	9kg	袋×4,179=	円	北海道 420円
玄米	9.9kg	袋×4,179=	円	東北 840円
小	計	袋	円	関東・信越 900円
				東海・北陸 950円
				関西 1,050円
				四国・中国 1,260円
				九州 1,320円
				※沖縄、離島は別途お問い合わせ下さい

**FAX(011)613-9323**  
数量に限りがございますのでお早めにお申し込み下さい。

**お支払い方法** (番号を○で囲んで下さい)  
1. 現金 (代引きはお取扱いしておりません)  
2. 銀行振込

**振込先** 札幌信用金庫 琴似支店(普)  
口座番号 4297231

特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
こころや 理事 我妻 武  
(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

※発送は入金後となります

**総合計(品代+送料)** 円

..... お買い求め・配送のお申し込みは .....



# こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F  
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

2012

— NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ —

# お歳暮特選ギフト

申込の切迫る!!  
12月25日まで

商品番号1

## 三大がにセット

- ボイルたらばがにセクション 1.0kg
- ボイル毛がに姿 1尾 (400g)
- ボイルずわいがに姿 1尾 (600g)



税込価格 **10,000円**



商品番号2

## 塩数の子

●300g

パリパリとした食感が特長のお正月の定番、塩数の子の化粧箱入り贈答用です。

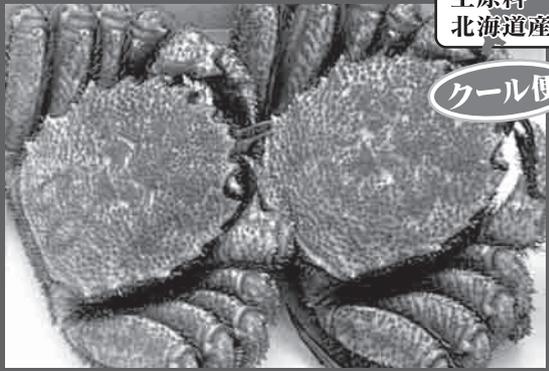
税込価格 **3,000円**

※原料事情により、サイズは異なる場合があります。

# 北の海鮮めぐり・物

商品番号 3

KL毛がに2尾



主原料 北海道産

クール便

●ポイル毛がに姿2尾 (800g)

おすすめ!

税込価格 4,800円

商品番号 4

ずわいがに甲羅盛りセット



クール便

●ずわいがに甲羅盛り (60g × 4個)

5,000円

税込価格

活きたずわいがにから仕上げたこだわりの品です。ずわいがにの美味しさをギュッと詰め込みました。

商品番号 7

銀聖刺身&いくら醤油漬



主原料 北海道産

クール便

●銀聖の銀さし造り 200g × 1p

●いくら醤油漬 250g × 1箱

税込価格 3,800円

銀聖のお刺身用「銀さし造り」と、鮭から造ったオリジナル魚醤油で丁寧に仕上げた「いくら醤油漬」をセットにしたこだわり2品の贅沢な詰め合わせ。大切な方への贈り物にピッタリ。

商品番号 8

H]ぼたんえび&帆立



クール便

●ぼたんえび 500g

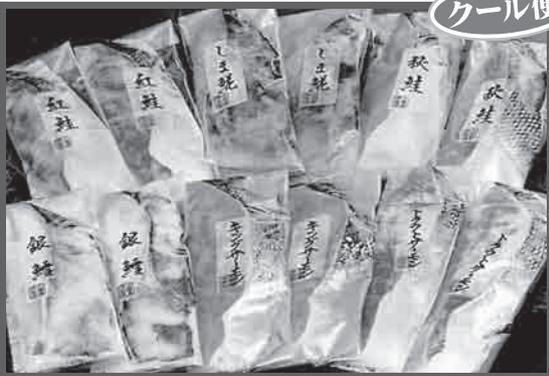
●帆立貝柱 500g

税込価格 6,000円

※原料事情により、サイズは写真と異なる場合があります。

商品番号 11

銀鱈物語6種セット



クール便

- 紅鮭西京漬 2切
- しまほっけ甘味噌漬 2切
- 秋鮭甘味噌漬 2切
- 銀鱈粕漬 2切
- キングサーモン西京漬 2切
- トラウトサーモン粕漬 2切

税込価格 5,400円

商品番号 12

北海道産限定 開き物セット



主原料 北海道産

クール便

- 開きさんま 2尾
- なめたがれい 1枚
- ほっけ開き 1枚
- こまい 200g
- ししゃも(オス) 10尾

税込価格

4,200円

北海道産の原料に限定し、前浜の新鮮で美味しい魚を丁寧に干物にししました。大きなホッケやなめたがれいなど北海道らしい魚の詰め合わせです。

# 厳選ギフト

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

共働サービス たねや

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階

数に限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。

商品番号 **5** **クール便**

**海鮮塩だれ鍋セット**  
小樽産えび魚醤入り



●生冷たらばがにカット 300g ●すけそうだら切身 40g×3切  
●ポイル甘えび 6尾 ●ポイル帆立 3個 ●かに入つみれ 3個  
●えび入つみれ 3個 ●油揚げ 2枚  
●ラーメン 80g ●特製塩だれ 50ml×2

税込価格 **4,000円**

小樽産の甘えびを米麹と塩だけでじっくり 100 日間かけて熟成させた甘えびの魚醤を配合したオリジナルの塩ベースの鍋ダレが特徴の海鮮鍋。具材も豊富で、シメのラーメンは魚介のダシと塩ダレとの相性も抜群です。

商品番号 **6** **クール便**

**海鮮スンドゥブ・チゲ風鍋セット**



●わたりがに 3尾 ●すけそうだら切身 40g×3切  
●あさり 60g ●とりごぼつみれ 6個  
●豚バラ肉 60g ●焼き豆腐 10個  
●うどん 2玉 ●たれ 1袋

税込価格 **4,000円**

人気の韓国鍋「スンドゥブ・チゲ」風の海鮮鍋。魚介からでたダシに、豚バラ肉の旨味が出て、ピリ辛の鍋ダレは濃厚なスープに！日本風の焼き豆腐が濃厚スープとよく絡んでクセになる美味しさ！寒い冬にぴったり！

商品番号 **9** **クール便**

**いくら醤油漬**

主原料 北海道産



●70g(瓶入り) × 3本

税込価格 **3,300円**

北海道産の秋鮭卵を原料にした新鮮ないくらを瓶詰めしました。少量ずつの3本入になっておりますので保存にも便利です。贈答用にも最適です。

商品番号 **10** **クール便**

**紅鮭半身切身**



●1.0~1.1kg

税込価格 **4,000円**

**おすすめ!**

商品番号 **13** **クール便**

**ししやも**

主原料 北海道産



●オス 10尾 ●メス 10尾

税込価格 **3,000円**

**おすすめ!**

商品番号 **14**

**きばりやコーヒー& がんばりクッキーセット**



●7個入り化粧箱×1 ●7個入り袋×1  
●バラ3個  
●がんばりクッキー 2袋

税込価格 **2,900円**

カフェド キバヤ自慢のオリジナルコーヒーとがんばりクッキーのセット。お湯を注ぐだけで、簡単に、香り・美味しさを楽しめるドリップコーヒーと、無添加・オーガニックにこだわった健康クッキーです。

# 商品注文書

No.

※取り扱い事業所

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
担当事業所 共働サービス **たねや**

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088  
Mail:taneya@npolife.net

■住所・氏名の難しい漢字には、フリガナをお願いいたします。

■郵便番号・電話番号（市外局番含む）は、必ず記入して下さい。

**FAX(011)644-0088 入金後の発送となります**

お支払い方法（番号を○で囲んでください）

- 現金（代引はお取り扱いしておりません）
- 銀行振込／北洋銀行 琴似中央支店 (普)口座番号：4616684  
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
共働サービス たねや 理事長 我妻 武  
(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

**送料は別途かかります**

※送料について

クール宅急便	道内 850円	道外 1,350円	宅急便 (着14のみ)	道内 500円	道外 1,050円
--------	---------	-----------	-------------	---------	-----------

一部地域を除き、全国配送可能（沖縄県、離島は別途 300円が加算されます）

差出人	お名前	フリガナ	電話番号
			( ) -
	ご住所	郵便番号 ( - )	

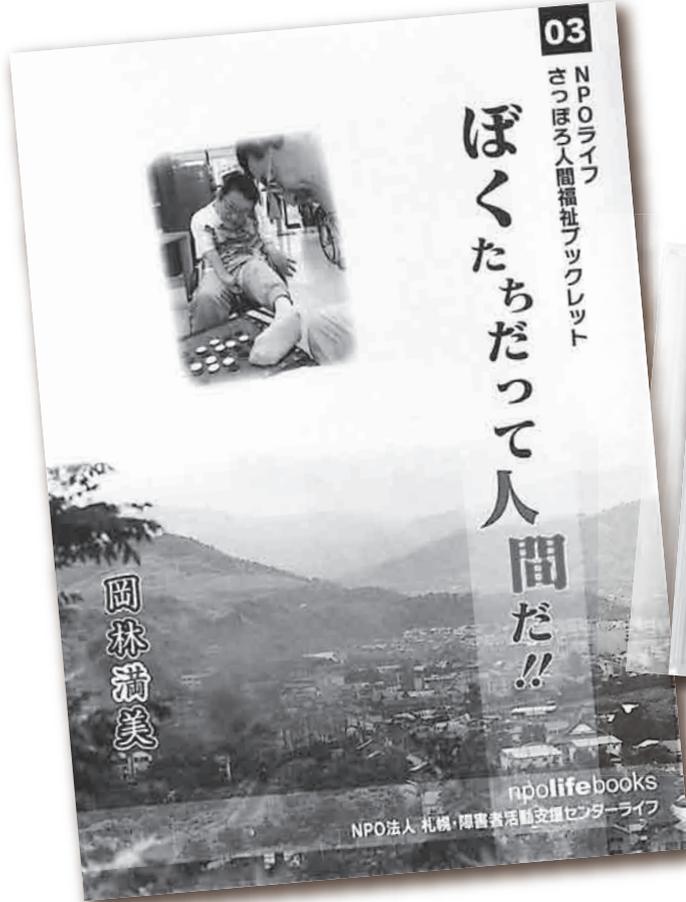
お届け先 ①	お名前	フリガナ	電話番号		
			( ) -		
	ご住所	郵便番号 ( - )		商品番号	
	のし	有・無 →	のし有の場合	頭書き お名前	
	商品金額	円	送料	円	合計金額
	配達希望日	月 日 ~ 月 日			

お届け先 ②	お名前	フリガナ	電話番号		
			( ) -		
	ご住所	郵便番号 ( - )		商品番号	
	のし	有・無 →	のし有の場合	頭書き お名前	
	商品金額	円	送料	円	合計金額
	配達希望日	月 日 ~ 月 日			

# ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

**絶賛発売中**

障害者として生まれた満美。  
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で  
自殺まで考えた彼が今、  
『生きていて幸せだ。』と言えるのは…  
岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



**CD 岡林満美  
僕たちの小さい命  
同時発売!!**

NPO ライフブックレット No.3  
2012年8月31日発行  
『ぼくたちだって人間だ!!』  
定価 800円(送料別)  
A5判 134ページ

2012年8月31日発売  
『僕たちの小さい命』  
定価 300円(送料別)  
※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…  
本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さつぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらないうまで』  
A5判 72p 定価 840円(送料別)

## 社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



**危機の時代こそ  
新しい考えを試す好機!  
社会的事業所促進法を!**

日本発  
共生・共働の  
社会的企業  
定価 2,100円(送料別)  
編者 NPO法人共同連  
2012年9月10日発行  
195×135 240p



## 震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

### 社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行  
『誰もが働ける社会を』  
A5判 140p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——  
NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

私のオススメ

### 「日本社会の歴史」

生きてきた人々の息づかいが聞こえる

元気ジョブ所長 織本 義昭

歴史というそれは0000年になにが起きたのか、極論すれば数字を覚える事、今の自分とは全く関係のない過去の事、教養=知識と思ってきた。

ところがその時代に生きていた人々が、どんな思いで生き、そして死んでいったのか。その積み重ねこそ歴史なのだということを私に教えてくれたのが網野善彦だった。

日本列島は「アジア大陸の北方と南方を結ぶ架け橋」としてあり、さまざまな諸地域とつながりの中で日本社会が形成されてきており、「単一民族国家」ではないこと（たとえばアイヌ民族もサハリンからアムール川上流まで船を使って交易活動を積極的に行い、北方産物の日本列島の流入におおきな役割をはたしている）。

また時代区分として原始社会から資本制社会と発展？進歩の原動力として農業を中心にすえてきた“進歩史観”に異を唱え、漁業・林業・商業など生業の多様さとそれを担う女性・被差別民・アイヌ・琉球人などが果たしてきた役割を評価し、さらに漁民・山の民などの生活を生き活きと浮かび上がらせている。



日本中世の生きてきた人の息づかい、生々しい臭いまでたちのぼってくるようだ。

日本社会の歴史〈上〉〈中〉価格：¥756 (税込)  
日本社会の歴史〈下〉 価格：¥735 (税込)  
網野善彦 / 岩波書店

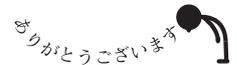
協力ありがとうございます

#### 寄付金

- 今井 孝子様
- 多原 良子様
- 織本 英子様
- 石澤 利夫様
- 石澤 利巳様

#### アドボケ購読料

- 今井 孝子 様
- 菱沼 美江子様



#### 【年末年始の休業日のお知らせ】

12月29日(土)~1月3日(木)まで

ライフの各事業所をお休みさせていただきます。  
来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

#### ~ライフカンパのお願い~



NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して23周年（法人化して12年）を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、昨年末から皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。

ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

#### 振り込み先

- 北洋銀行 琴似中央支店 普通預金 4606735  
加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武
- 札幌信用金庫 琴似支店 普通預金 3296744  
加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武
- ゆうちょ銀行 振替口座 02710-4-63485  
加入者名 NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

#### 編集後記

12月の衆議院議員選挙では福祉も大きな争点なはずだったのに、そうした内容を訴えていた方は少なかったように感じたのは私だけだろうか。そうしたことに危惧を抱いた仲間たちが12月9日に札幌中心部でデモ行進を行った。折しも、この日は1975年に国連で「障害者の権利宣言」が採択された日だ。この日にデモ行進を行うことは雪の北海道では大変なことだが、障害者の日であり、選挙前に訴えることも考えて、あえてこの日となった。財政再建はもちろんのこと、この国の未来。そして、この国の閉塞感や不安を解消するためにも福祉の未来を語ることは大切な論点の一つだと思うのだが、残念である。新政権が何を語り、何を手掛けていくのか注視したい。(タケ)

#### アドボケイト 師走・睦月合併号(第145・146号)

2012年12月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第489号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円